

同時発表：国土交通省物流・自動車局  
東北運輸局、関東運輸局、九州運輸局

令和7年9月1日

## 令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」二次募集の交付決定

国土交通省では、物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を図るため、物流効率化法に基づき、トラック輸送から鉄道・海運への転換（モーダルシフト）や幹線輸送網の集約化等の取組を進めております。

同法に基づく総合効率化計画の策定やモーダルシフト等の取組を支援する補助事業の二次募集を令和7年6月17日から7月31日まで行い、中国運輸局管内1件を含む計7件の協議会の認定及び交付決定を行いました。

### 中国運輸局管内における交付決定案件の概要（計画策定経費補助）

協議会名：モランボンモーダルシフト推進協議会  
協議会構成：モランボン株式会社  
：JR貨物ロジ・ソリューションズ株式会社  
：日本貨物鉄道株式会社  
事業概要：岡山県から東京都への食品輸送に係る鉄道モーダルシフトの総合効率化計画の策定及び実証実験の実施

### 【全国の採択件数の内訳】

- (1) 計画策定経費補助（今後、物流効率化法に基づく計画認定を目指す案件への補助）：1件  
※中国運輸局管内1件を含む
- (2) 運行経費補助（物流効率化法に基づく計画認定を受けた事業への補助）：6件  
採択案件の詳細は別紙資料を参照ください。

### 【交付決定額】

約22.1百万円（合計7件）

#### 【お問合せ先】

中国運輸局 交通政策部 環境・物流課

電話：082-228-3496 担当：築山、末廣

## 令和7年度 モーダルシフト等推進事業 認定案件一覧

## &lt;計画策定経費補助 採択案件&gt;

担当 運輸局	協議会名	協議会構成	類型	事業概要
1 中国	モランボンモーダルシフト推進協議会	モランボン株式会社 JR貨物ロジ・ソリューションズ株式会社 日本貨物鉄道株式会社	鉄道モーダルシフト	食品輸送の岡山-東京間の鉄道モーダルシフトの総合効率化計画の策定及び実証実験の実施 ※片道

## &lt;運行経費補助 採択案件&gt;

担当 運輸局	協議会名	協議会構成	類型	事業概要
1 東北	東洋紡エムシー-MNXモーダルシフト推進協議会	マリネックス株式会社 東洋紡エムシー株式会社 新日本フェリー株式会社	船舶モーダルシフト	コイル輸送の岩手-岡山間の船舶モーダルシフト※片道
2 東北	東北物流センター協議会	クリナップロジスティクス株式会社 株式会社太陽流通サービス	幹線輸送の集約化	システムキッチン製品の福島県-東北各県間幹線輸送集約化
3 関東	サントリーモーダルシフト推進協議会	若松梱包運輸倉庫株式会社 サントリーホールディングス株式会社 サントリーロジスティクス株式会社 日本貨物鉄道株式会社	鉄道モーダルシフト	飲料輸送の神奈川-静岡-石川間の鉄道モーダルシフト※片道
4 関東	日本製紙クレシアモーダルシフト推進協議会	鈴与株式会社 日本製紙クレシア株式会社 クレシア物流株式会社 鈴与カーゴネット株式会社	船舶モーダルシフト	家庭紙製品輸送の千葉-山口間の船舶モーダルシフト※片道
5 九州	飲料食品包装容器モーダルシフト協議会	東罐ロジテック株式会社 東罐興業株式会社 日本貨物鉄道株式会社	鉄道モーダルシフト	包装容器輸送の福岡-愛知間の鉄道モーダルシフト※片道
6 九州	鹿児島モーダルシフト協議会	株式会社肥後産業 株式会社伊藤園 株式会社商船三井さんふらわあ	船舶モーダルシフト	飲料輸送の宮崎-佐賀-兵庫間の船舶モーダルシフト※往復

## 事業目的

- **物流分野の労働力不足に対応**するとともに、**温室効果ガスの排出量を削減しカーボンニュートラルを推進**するため、物流効率化法の枠組みの下、**荷主・物流事業者を中心とする多様な関係者と連携したモーダルシフト等を推進**。

## 事業内容

- モーダルシフト等の物流効率化の取組について、①物流効率化法に基づく「**総合効率化計画**」の**策定経費**（協議会の開催等）や、②「**認定総合効率化計画**」に基づくモーダルシフトやトラック輸送の効率化（幹線輸送の集約化、中継輸送、共同配送、貨客混載等）に関する**事業の初年度の運行経費**に対して支援。
- ①、②のうち、**省人化・自動化機器の導入等の計画策定**や**実際に当該機器を用いた運行**には、**補助額上限の引上げ等**を実施。

### 実施に向けた主な流れ

- 1 協議会の立上げ  
・物流事業者、荷主等の関係者による物流効率化に向けた意思共有
- 2 協議会の開催  
・関係者の参集、輸送条件に係る情報やモーダルシフト等の実現に向けた課題の共有及び調整、CO<sub>2</sub>排出量削減効果の試算 等
- 3 総合効率化計画の策定  
・協議会の検討結果に基づき、物流総合効率化法に規定する「総合効率化計画」の策定
- 4 総合効率化計画の認定・実施準備
- 5 運行開始

### 補助上限・補助率

上限総額  
500万円

省人化・自動化機器導入  
上限300万円  
(補助率：1/2以内)

計画策定経費補助  
上限200万円  
(補助率：定額)

上限総額  
1,000万円

省人化・自動化機器導入  
上限500万円  
(補助率：2/3以内)

運行経費補助  
上限500万円  
(補助率：1/2以内)

### 省人化・自動化への転換・促進を支援

<省人化・自動化機器の導入例>

- ・荷物の保管場所から荷さばき場までの無人搬送車での移動
- ・ピッキングロボットや無人フォークリフトを使用したパレット、コンテナ等への荷物の積付け



無人搬送車



ピッキングロボット



無人フォークリフト

## 昨年度事業との主な変更点

- ・貨客混載をはじめとするラストワンマイル配送効率化の取組について、過疎地域以外の取組も補助対象に追加